

Kasugai City Philharmonic Orchestra



第17回 春日井市交響楽団 定期演奏会

2008年7月6日(日)

開演 15:00 (開場 14:00)

春日井市民会館

Program

ムソルグスキー

交響詩「はげ山の一夜」ニ短調

ラフマニノフ

ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調

チャイコフスキー

交響曲 第5番 ホ短調



ピアノ
パスカーレ・イアンノーネ



指揮
草川 正憲

入場料: 1,000円 (消費税込み) 全自由席

入場券: 5月20日(火)より
文化フォーラム春日井文化情報プラザ、
清水屋案内所、サンマルシェインフォメーションで販売

主催: 春日井市交響楽団 後援: 愛知県教育委員会、春日井市、春日井市教育委員会、(財)かすが市民文化財団、中日新聞社

問い合わせ 春日井市交響楽団事務局 (中部大学渉外部内) (0568) 51-1111 (代)

Kasugai City Philharmonic Orchestra

ごあいさつ

春日井市交響楽団団長
花村 浩 克

春日井市の市民オーケストラである春日井市交響楽団は、「名曲の名演奏」によって、市民のみなさまに音楽の素晴らしさと楽しさを知っていただこうと、毎年、定期演奏会を開き、「春日井市民第九演奏会」に出演しています。今年度の定期演奏会は、チャイコフスキーの「交響曲第5番」とラフマニノフの「ピアノ協奏曲第2番」という名作を中心に、ダイナミックで迫力あるフルオーケストラの演奏をお聴かせしようと練習に励んでいます。指揮者にはヴェテランの草川正憲さんを、ピアニストにはナポリ・ピアノ奏法の名手パスクアーレ・イアンノーネさんをお招きしました。ぜひ、ご家族おそろいでお出かけくださいますよう、お待ちしております。



パスクアーレ・イアンノーネ [ピアノ] PASQUALE IANNONE

Piano

国際的に活躍をつづけている話題のイタリアのピアニスト。1984年に南イタリアのバリのプッチーニ音楽院を卒業。巨匠アルド・チッコーニとマリア・ゾンマに師事してナポリ・ピアノ奏法を学びました。1987年にロンドン国立音楽院でディプロマを得ました。その後、ナポリの「カセラ国際ピアノ・コンクール」やアメリカの「ジーナ・バッチャー国際ピアノ・コンクール」など多くのコンクールで優勝や入賞を重ね、その音楽性と技術は多くの賞賛を得ています。レパートリーは、ピアノへの名曲の「トランスクリプション」（編作）を得意として、リストの「ベートーヴェン交響曲第7番」や「プレリュード」をはじめ、ローゼンタールによる「ヨハン・シュトラウスワルツ集」はCDでも人気を博しています。近代・現代音楽も得意として、特にチャイコフスキーやラフマニノフの演奏では定評があり、2000年に録音したCDは年間ベスト・ワン賞に選ばれました。イタリアはむろんのこと、海外の有名オーケストラと協演して、ドラマティックな協奏曲ピアニストとしても優れた演奏を聴かせてくれます。



草川 正憲 [指揮]

Masanori Kusakawa

Conductor

東京音楽大学音楽学部指揮科卒。指揮法を紙谷一衛、故 松本紀久雄の両氏に師事。在学中より主にオペラ指揮者として研鑽を積む。大学卒業後、活動の場をオペラ以外にも広げ、様々な分野の公演を指揮する傍ら、藤原歌劇団に所属しオペラ指揮法を故 福森湘氏に師事。数々の来日イタリア人指揮者のアシスタントを務め、イタリアオペラへの見識を深める。その後、単身イタリアへ渡り、ダニエレ・アジマン氏のもとで研鑽の日々を送る。また、ハンガリーにてユーリ・シモノフ氏に師事し、ディプロマを獲得するなど、管弦楽の分野へも視野を広げる。2001年、ミラノにおいてヴェルディ作曲歌劇『椿姫』を指揮し、デビューを飾る。同公演を観劇に来ていたアルノルド・マントヴァーニ音楽アカデミー校長のカーティア・ロロヴァ氏に招聘され、同アカデミーの専属指揮者に就く。在任中にヴェルディ『イル・トロヴァトーレ』、マスカーニ『カヴェッレリア・ルスティカーナ』、プッチーニ『トスカ』等を指揮する。2005年4月に帰国、モーツァルト『レクイエム』、ベートーヴェン『交響曲第9番』等を指揮。その後も数々のオーケストラ、吹奏楽団、合唱団を指揮し好評を博す。また8年間のイタリア滞在生活を活かし、イタリアオペラ指揮者として活躍。2006年から現在までにプッチーニ『蝶々夫人』、『ジャンニ・スキッキ』、ドニゼッティ『ランメルモールのルチア』、ベッリーニ『ノルマ』、チレア『アドリアーナ・ルクブルール』、レオンカヴァッロ『道化師』、ヴェルディ『ルイザ・ミラー』、『仮面舞踏会』等々、数々のイタリアオペラを精力的に指揮。今後もイタリアオペラを中心に指揮活動が続ける。2001年9月、イタリアのベスカーラで行われた『第6回マリオ・グゼッラ国際指揮者コンクール』にて3位に入賞。

春日井市交響楽団

市民オーケである春日井市交響楽団は、ベートーヴェンの「第九交響曲」の演奏会を春日井市で開きたいという市民の思いから生まれました。それを受けて、「市民が演奏し・市民が聴く、春日井市民のオーケストラ」として、市内の音楽愛好家を中心に、1990年（平成2年）11月に創立されました。愛称『カポ』（KAPO）は英字名称「KASUGAI CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA」の頭文字をとったもので、イタリア語の「カポ」（capo 頭・先頭に立つ者）の思いもあります。毎年、7月の定期演奏会と12月の「春日井市民第九演奏会」を中心に、数多くのオーケストラ活動を行っています。団員は、会社員・公務員・教員・医師・主婦・学生・自営業者などからなる60名。私たちににとって最大の喜びは、一人でも多くのみなさまに演奏会においていただき、音楽を聴く喜びとともにクラシック音楽が好きになっていただくことです。そのために、「春日井で名曲の名演奏を」と心がけています。また、「春日井の開かれた音楽の窓」となっている国の内外の最高の音楽家との共演にも努めています。これからも、さらに、市民のみなさまに親しまれ、愛されるカポとして、市民音楽活動をつづけて参ります。温かいご支援をお願いいたします。